

## ■ 2018年度 アジア歴史研究助成

	氏名	役職	所属	研究タイトル
1	飯塚 靖	教授	下関市立大学 経済学部	戦後中国長期残留者の軌跡と記憶
2	上田 知亮	准教授	東洋大学 法学部法律学科	近現代インドの権利形成史 ：司法積極主義と社会運動に着目して
3	大河原 知樹	教授	東北大学大学院 国際文化研究科	「イスラーム的価値観」にもとづく民法、民事訴訟法の研究
4	太田 出	教授	京都大学大学院 人間・環境学研究科	近現代東アジア漁業と海洋資源 ——日中韓台の歴史・現在・未来——
5	緒方 宏海	准教授	香川大学 経済学部	日本における媽祖信仰の受容と船霊信仰に関する 歴史人類学的研究
6	児玉 弘	准教授	佐賀大学教育研究院 人文・社会科学域経済学系	台湾における“脱原発”の政治・行政・司法過程
7	島田 大輔	研究員	立命館大学 立命館アジア・日本研究機構	日本の回教政策における戦前・戦後期の連続と断絶 ——米国冷戦政策との関連性の検証を中心に——
8	朱 琳	准教授	東北大学大学院 国際文化研究科	近代日本の中国学に関する総合的研究 ——知の編成・連鎖・再生産
9	張 宏波	教授	明治学院大学 教養教育センター	日中相互イメージの「複雑性」を捉えるための調査研究 ：相互交流の時代に求められることを展望するために
10	東長 靖	教授	京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科	スーフイズムに基づくアジア型イスラームの共生思想とその実践
11	豊岡 康史	准教授	信州大学学術研究院（人文科学系）	清朝中期の構造変動と「嘉慶維新」（1796-1820）